

令和4年度 湯浅町立田村小学校スクールプラン

和歌山県学校指導の方針と重点
湯浅町学校教育基本方針
地域とともにある学校づくり
市民性を育てる教育の充実
落ち着いた雰囲気の中での教育活動の充実

【学校教育目標】
自立・貢献
～未来を担う「かがやけ田村の子」の
育成をめざして～

前年度の学校評価
○コロナ禍であっても、できる活動を考え、安全に行い、充実した学校生活となるように工夫して行った。
○学力保障の取組を行い、一定の成果が得られた。
○「あてはまらない」が最も多かった項目は、「学校は学校での様子を分かりやすく伝えている」だった。

保護者・地域の願い
○子供の学力を定着してほしい
○明るく楽しい学校に通わせたい
○相手の気持ちがわかる子供に
○地域に誇りをもってほしい

【研究主題】
「自ら学ぶ・ともに学ぶ」
～伝え合い、学び合い、高め合う
田村の子をめざして～

児童の実態
○純朴で素直 ○真面目に取り組む ○思いやりがある
○少人数の固定化された人間関係
○全体から突出することを避けようとする
○自ら課題を見つけ、解決しようとする積極性が少ない

めざす学校像
・活気に満ち、生き生きと教育活動に取り組む学校
・学力向上をめざし、教育実践を積み重ねる学校
・やさしい心に満ちた、子供・保護者・地域住民が安らげる学校
・建設的な考えのもと、子供の成長に尽くす学校

めざす子供像
考えを深め、学ぶことを楽しむ子 (がながえる子)
がんばりのきく子 (がんばる子)
やさしい気持ちを持ち、他者貢献ができる子 (やさしい子)
健康でたくましい子 (けんこうな子)

めざす教師像
・活動的で明るい教職員
・学習指導力・生活指導力を磨き、学び続ける教職員
・やさしく子供を受け止める教職員
・献身的な情熱で子供の成長に尽くす教職員

重点項目	学習指導	地域学習	生徒指導	人権教育	健康教育	防災・安全教育
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・協働的な学習を進めるため、校内研究を充実させる。子供たちによる課題解決を重視した授業の推進を図る。 全国学力・学習状況調査や和歌山県学習到達度調査などの結果分析をいかし、日々の授業や補充、個別学習の時間を充実させ、学力保障に努める。 学習意欲を高める環境づくりと、ICTとの最適な組み合わせを実現し、多様な学び合いの中において、高め合い、深め合う学習集団づくりを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科や教育活動のねらいのもと、地域の特産物や歴史、文化、自然にふれ、探究心を引き出す教材の開発と取組を進める。 キャリア教育の視点と関連付けながら、郷土のよさに気づき、愛着と誇りをもって、地域に貢献しようとする心情を養う。 学校運営協議会での話し合いや育友会活動を中心として、学校と地域が目標及び、未来の子供や地域の姿を共有し、コミュニティースクールの実現に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種アンケートや生活実態調査等を通して、保護者との連携を図りながら、基本的生活習慣の定着に努める。 人権尊重・生命尊重の考えに立って、個々のよさを認め、望ましい人間関係を育て、児童が安心して生活できる学級・学校集団づくりを進める。 自立・貢献を念頭に置き指導する。学年縦帯班を編成し、高学年が低学年の児童を導く機会を多く設け、高学年児童の自立心を高めるとともに、全児童に貢献感を味わわせるように努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々が価値ある存在であるという感情を養うとともに、公正・公平を重んじ、他と共によりよく生きようとする態度を、道徳科を中心に進める。 湯浅モデル及び和歌山県人権学習の手引きを基にしながら、年間を通じた人権教育の取組を行い、人権課題解決のための知的理解と人権感覚の育成に努める。 相互理解のためのコミュニケーション能力を高め、様々な活動を通して、多くの人と合意形成を図るための能力を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたり心身ともに健康な生活を送ることに関心をもち、体力の向上や健康の保持増進に取り組む態度を養う。 体力アッププランに基づき、運動能力及び体力の向上に向けた指導方法の工夫や授業改善に取り組む。 食育の推進と給食指導の充実を図る。JA有田・家庭・地域・栄養教諭と連携しながら、望ましい食習慣の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 地震・津波、火災避難訓練、防犯訓練を通し、防災・防犯意識の向上を図る。 子供たちが自ら日常生活の中に潜む様々な危険を回避したり安全な行動がとれたりできるように安全教育を行う。 毎月の安全点検やあいさつ運動により、教職員の意識を高め、安全・安心な学校環境づくりに努める。
	指標	<ul style="list-style-type: none"> 各教員年1回の研究授業に取り組み、授業改善を図る。 学力定着のために、個別指導を継続的に行う。 授業でタブレットを使用し、多様な学びの場を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人材・学習素材をいかした生活科、総合的な学習の実践を行う。 各学年のキャリア教育年間指導計画のもとに、キャリアノートを活用し、ねらいを明確にもって実践に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活調査の結果をふまえ、全児童の家庭での生活及び学習習慣を懇談会または二者面談で共有・啓発する。 年に2回実施予定のQ-Uアンケートの結果をもとに職員会で事例検討する機会を設ける。 特別活動との連携を念頭に、全児童のリーダーシップ・フォロワーシップ育成の機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 田村小学校の人権週間の取組「こころの木(実)」の年次、道徳の年間計画「公正・公平」を位置づけ取り組む。 湯浅モデル及び和歌山県人権学習の手引きを基にしながら、年間を通じた人権教育の取組を行い、実践記録を残す。 	<ul style="list-style-type: none"> 体力向上と生活習慣や食育を関連させ、学校全体で取り組む。 新体力テストの結果をもとに、明らかになった課題を解決するために走・跳・投の運動機能や柔軟性を高める取組を進める。 各学年の発達段階や様々な教科との関連を図りながら食に関心を持たせる取組をすすめる。

その他の教育活動

特別支援教育の充実・GIGAスクール実現のための情報教育の推進・外国語指導教員、ALTと連携した外国語教育の取組
教科書を中心としながら実態に合わせた道徳教育の推進・子供たちの知見や情操を育てる図書館教育の取組